

The ITOCHU ENEX logo, a stylized 'e' in a circle with red, white, and blue segments.

GTL燃料のご紹介

2022年 1月

Shell GTL燃料について

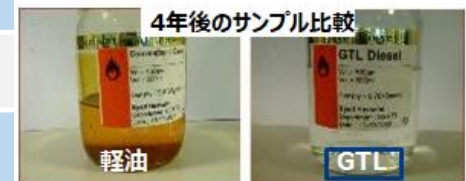
- ◆GTLとは・・・ Gas to Liquidsの略称であり、天然ガスから精製された液体燃料の総称。
硫黄分・金属分・芳香族分を含まない非毒性のパラフィン系燃料。
- ◆用 途・・・ 欧州では ①オンロード（バス・トラック） ②オフロード（建設機械・発電機） ③海洋（船舶）で使用。

GTLは軽油のJIS規格に合致しており、軽油代替燃料としてご使用可能です。

性状	単位	基準	JIS K2204 2号	GTL規格 (Shell保証規格)	GTL 現物スペック
セタン指数	-	Min	45	60	83.6
密度 (15℃)	g/cm	Max	0.86	0.79	0.7781
硫黄分	%	Max	0.0010	0.003	0.0001未満
引火点	℃	Min	50	70	91.0
10%残油の残留炭素分質量%	% (m/m)	Max	0.1	0.1	0.01未満
脂肪酸メチルエステル (FAME)	% m	Max	-	-	0.1未満
トリグリセリド	% m	Max	0.01	-	0.01未満
動粘度 (30℃)	Mm ² /s	Min	2.5	>2.7	3.181
蒸留性状90%留出温度	℃	Max	350	330	310.0
流動点	℃	Max	-7.5	-20	-32.5
目詰まり点	℃	Max	-5	<-10	-24.0

GTL燃料の価値

特性	メリット
① 煤がでない	NOx・PM低減、環境負荷低減・労働環境を改善
② 易生分解性	無毒性（環境負荷低減）、バクテリアによる分解
③ 引火点70℃以上	第3石油類に該当する為、指定数量2,000 Lまで可能
④ CO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量▲8.5% ※軽油対比
⑤ 流動点▲20℃	寒冷地でも使用可 寒冷地用3号軽油相当
⑥ 貯蔵安定性	長期貯蔵・BCP対策に最適（4年～6年）
⑦ 消費量の可視化	各現場の消費量の把握が可能 ※売買契約に基づく
⑧ エンジン改造等不要	設備投資不要、既存設備にて利用可能



～排出原単位に基づくCO₂削減効果算出方法～

一般軽油 2.58kg-CO₂/L
GTL軽油 2.36kg-CO₂/L

経済産業省認可済

当原単位は、温対法に係るCO₂排出量報告に於いて適用可能です。
*ご報告の際には、GTLではなく「[その他の燃料](#)」とご記入下さい。

国土交通省認可（NETIS登録） 済

新技術名称
登録NO. GTL(Gas to Liquid) : 天然ガス由来の軽油代替燃料
 KT-190065-A

◆2019年10月、国土交通省管轄のNETIS（新技術情報提供システム）登録される。
燃料としてのNETIS登録は日本初。

NETIS（New Technology Information System）

→新技術情報提供システムのことであり、新技術活用促進のため、
新技術に係る情報の共有及び提供を目的に国土交通省が整備したもの。



国交省NETIS

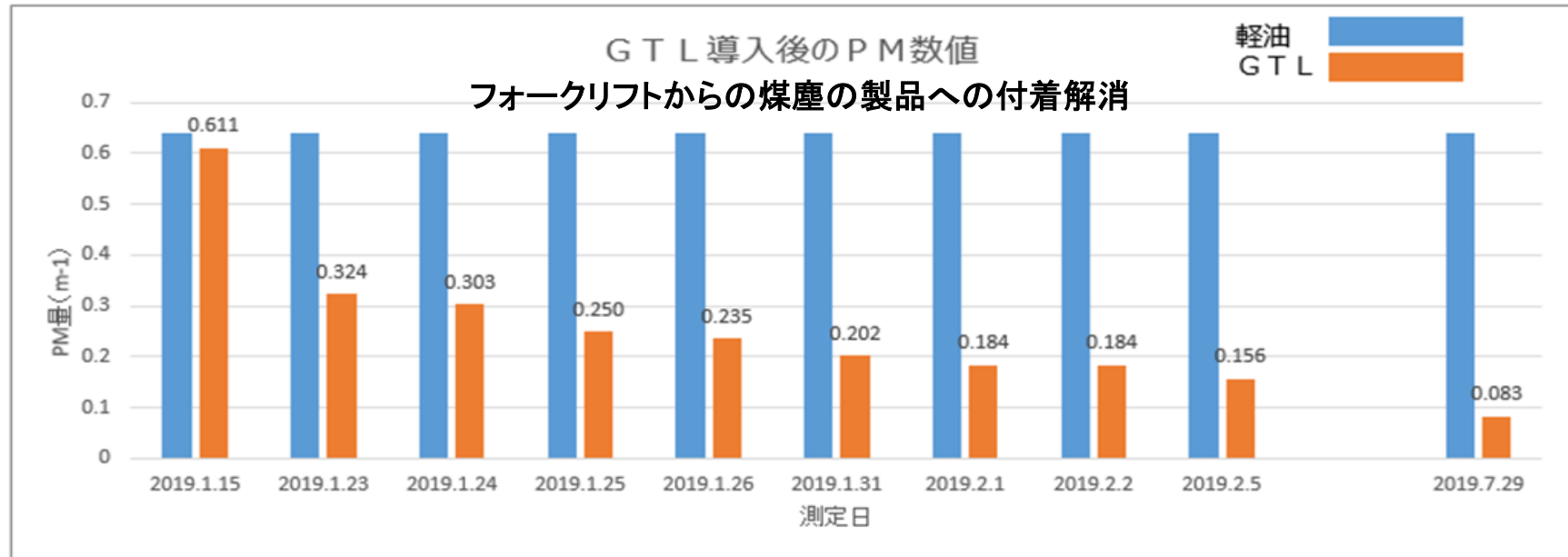
【NETIS技術を使うメリット】

- ① 公共工事に際し、NETIS登録技術を活用した提案をすると**工事成績評価※**で加点の対象となる。
- ② 使用結果が良好な場合は更なる加点。

※工事成績評価：公共工事において、工事が完成した段階で、発注者が工事ごとの施工状況、
出来形及び出来ばえ、技術提案などを採点する工事の（成績表）通知表のことです。

GTLのNO_x、PM削減効果

国内事例：豊能運送(株)様 ※旧型のフォークリフトで測定



現場の声



- ・導入のきっかけは、環境に対する性能が良いこと
- ・煤除去のエアブロー作業が非常に少なくなった
- ・従業員の声 「目や鼻の痛みが無くなった」
- ・配送協力会社によって、安定的な配送体制となっている

GTL燃料の導入事例①

工事現場での使用実績：戸田建設日本社ビル



SDGsに則った工事現場



GTL燃料を使用する重機



日本社ビル解体工事現場



戸田建設日本社ビルイメージ

〈戸田建設日本社ビル解体工事の重機向け燃料としてGTLが採用されました！〉

- ・解体工事に使用した重機：×8台
- ・GTL使用量：約130kL

採用理由：

戸田建設はエコ・ファースト制度に参画するなどCO₂排出量削減に積極的であり、GTLの環境負荷低減性が評価され採用された。

「今後はトンネル工事作業所をはじめ広く展開していく」
(同社ニュースリリースより)



GTL燃料の導入事例②

非常用発電機燃料での使用実績：横浜市新市庁舎



GTL燃料を使用する機器は、
GTL燃料専用となります。

2020年2月にGTL燃料226,000Lを納入いたしました。

〈横浜市新市庁舎の非常用発電機燃料に正式採用 されました！〉

採用理由：

横浜市は地球温暖化対策実行計画を策定するなど、地球環境への取組みを積極的に行っている。GTLの環境負荷低減と長期貯蔵安定性が評価され、GTL採用に至った。



横浜市新市庁舎外観

災害時でも市庁舎のBCP機能を7日間維持できる非常用発電機（2,000kVA×2台）が設置されています。



GTL燃料の導入事例③

土木用レンタル重機での使用実績：大手広域レンタル企業



GTL燃料を使用する重機



重機稼働現場

GTL燃料を使用する機器は、
GTL燃料専用となります。

〈大手広域系建設機械レンタル企業 様の 土木用レンタル重機用にGTL燃料が採用されました！〉

採用理由：

当該大手建設機械レンタル企業では、「安全・環境・効率化」をテーマに、各種工事現場で利用される環境対策機器の充実により環境負荷低減に努めている。今回使用する重機は埼玉県所沢市の造成工事にて稼働。

当該現場におけるCO₂排出量削減を目指し、採用に至った。今後もレンタル重機器へのGTL採用を積極化し、現場における環境問題へのソリューションを提案していく方針。



GTLの利用に関する機器の保証

CATERPILLAR（キャタピラー）

米国親会社および国内キャタピラーグループ会社にて保証済み。
GTL使用についての保証文言も発行済み。各営業所への問合せも可能。

KOMATSU（コマツ）

コマツとIPA（コマツ&Cummins JVのエンジン開発）既認。
GTL使用についての保証文言も発行済み。各営業所への問合せも可能。

日立建機

GTL使用についての保証文言も発行済み。各営業所への問合せも可能。

コベルコ建機

GTL使用についての保証文言も発行済み。各営業所への問合せも可能。

住友重機

GTL使用についての保証文言も発行済み。各営業所への問合せも可能。

※他メーカーには、継続的にアプローチ実施中。

メーカー保証文書①

コベルコ建機製品にGTL燃料を使用する際にご留意頂きたい点

<GTL燃料とは>

- ・GTL(Gas To Liquid)は天然ガス由来の燃料であり、一酸化炭素と水素ガスの混合ガスを化学反応させ、合成した液体燃料のことです。

<GTLをコベルコ建機製品にご使用頂ける条件>

- ・伊藤忠エネクス株式会社が販売するGTL燃料(欧州規格EN15940を満たしている)を使用すること。その他販売店から購入されたGTL燃料の使用に起因した不具合は保証対象外となります。
- ・GTL燃料販売元の「重要事項説明書」及び「GTL燃料の管理方法に係るガイドライン」に必ず従って下さい。
- ・GTL燃料を使用できる機種については以下となります。
 - 日野/いすゞ/ヤンマー/三菱エンジン搭載クローラー式油圧ショベル（コマツエンジン搭載機は除く）
 - ※ホイールショベル、（クローラ/ホイール）クレーン、ホイールローダ、道路機械、ホイール式ダンプトラック等、上記以外の機種は除く。
- ・燃料フィルタ交換等のメンテナンスは取扱説明書の内容に従って実施をお願い致します。
- ・使用した燃料に起因する機械の不具合が発生した場合は、故障発生部品と使用燃料を回収させて頂きます。

<注意事項>

- ・公道を走る自動車（ホイールショベル、ホイールクレーン、ホイールローダ、ミニホイールローダ等のナンバープレート取得車）の燃料としての使用は禁止されています。（公道を走るナンバープレート付きの車両にGTL燃料を使用した場合、軽油引取税を支払っていない不正軽油とみなされます）
- ・給油する機械はGTL燃料専用車となります。軽油からGTL燃料への入れ替え時、タンクに残留した軽油の確認が必要になることがあるため、事前に所管の都道府県税事務所へ相談をお願い致します。
- ・保管時にタンクなどに貯蔵する場合もGTL燃料と他の油種を混合しないで下さい。
- ・GTL燃料への軽油引取税の課税に関する内容はGTL燃料販売元へ問い合わせをお願い致します。
- ・今後GTL燃料に関する各種法律や規格が追加変更になる場合には「GTL燃料をコベルコ建機製品にご使用頂ける条件」が変更になる可能性があります。
- ・その他GTL燃料に関する不明な点につきましてはGTL燃料販売元へお問い合わせ下さい。

2020年11月 コベルコ建機株式会社

SUMITOMO

SUMITOMO CONSTRUCTION MACHINERY CO.,LTD.

GTL 燃料の使用における留意事項

GTL (Gas to Liquid) 燃料

GTL 燃料は、天然ガス由来の環境負荷が少ないクリーンな軽油代替燃料です。

GTL 燃料取扱上の注意事項

- ・GTL 燃料と他の油種を混和しないで下さい。給油する機械はGTL 専用となり、タンクなどに貯蔵する場合も同様です。燃料の切り替えに際しては、事前に所管の都道府県税事務所またはGTL 燃料販売元に相談して下さい。
- ・公道を走行する車両の燃料としては使用しないで下さい。公道を走る車両にGTL 燃料を転用すると、税法上、不正軽油とみなされます。
- ・購入時はGTL 燃料販売元との契約等の手続きが必要となりますのでご注意下さい。

使用可能機種

3B 型/5 型/6 型/7 型 油圧ショベル全機種
(道路機械についてはナンバープレート付車両があるため使用出来ません)

使用条件

- ・伊藤忠エネクス株式会社が輸入した欧州規格 EN15940 を満たした GTL 燃料とする。
- ・その他の業者が輸入した GTL 燃料を使用したことによる機械の不具合は保証対象外となります。
- ・GTL 燃料販売元の「重要事項説明書」及び「GTL 燃料の管理方法に係るガイドライン」に従って下さい。

その他注意事項

- ・燃料フィルタ交換等のメンテナンスは取扱説明書の内容に従って実施をお願い致します。
- ・使用燃料に起因する機械の不具合が発生した場合、原因調査のため不具合発生部品或使用燃料の回収にご協力下さい。
- ・今後 GTL 燃料に関する法律や規格が追加変更となった場合は、「GTL 燃料の使用における留意事項」が変更となる可能性があります。
- ・GTL 燃料への軽油引取税の課税に関する取扱いについては、GTL 燃料販売元へ問い合わせをお願い致します。
- ・その他、不明な点につきましては、GTL 燃料販売元または最寄りの住友建機販売営業所へお問い合わせ下さい。

2021年5月 住友建機株式会社

メーカー保証文書②

Caterpillar製品においてGTLをご使用になる際にご留意いただきたい点

GTL (Gas To Liquid) という新しい建機用燃料の流通が始まっています。ご使用に当たっては、下記の点にご留意ください。

- 最新の燃料規格*を満たしたGTLはCaterpillar製品でご使用頂けます
*最新の燃料規格：ASTM D975/EN 590/CEN TS15940
- 軽油のJIS規格を満たしたGTLは軽油相当であり、オフロード法*においても製造メーカーが認める燃料とみなされるため、公共工事などでご使用頂けます。実際に使用時は、事前に地方自治体に確認下さい。
*特定特殊自動車排出ガス規制等に関する法律
- GTLへの軽油引取税の課税に関する各都道府県での取扱いについては、下記の輸入販売元事業者へお問い合わせください
- 実際の現場でのご使用に当たっては、輸入販売元事業者の「重要事項説明書」および「GTL燃料の管理方法に関わるガイドライン」に必ず従ってください
- その他、ご不明な点は下記お問い合わせ先へお尋ねください

正しい燃料を使用し、クリーンな現場を実現するために、ご理解とご協力をお願い致します。

お問い合わせ先：輸入販売元事業者 伊藤忠エネクス株式会社

産業ビジネス部門 環境ビジネス部 東日本環境ソリューション課
大塚、坂口 TEL：03-4233-8073 FAX：03-4533-0115
〒100-6027 東京都千代田区霞が関3丁目2番5号 霞が関ビルディング27階

HITACHI

日立建機製品にGTL燃料を使用する際の注意点について

■ GTL燃料とは

GTLはGas To Liquidの略で、一酸化炭素 (CO) と水素ガス (H₂) の混合ガス (合成ガス) を化学反応させ、合成した液体燃料のことです。

■ GTL燃料を日立建機製品にご使用いただける条件

- ・使用するGTL燃料が欧州規格EN15940を満たしている。
- ・GTL燃料販売元の「重要事項説明書」及び「GTL燃料の管理方法に関わるガイドライン」に従った使用をしている。
- ・2020年2月時点でGTL燃料を使用できる機種については以下となります。
ミニショベル、中型油圧ショベル、大型油圧ショベル、ホイールローダー
※搭載されているエンジンメーカーによってはGTL燃料が認められていない機種もありますので、GTL燃料を使用する前に最寄の営業所へお問い合わせください。
- ・燃料フィルタ交換等のメンテナンスは取扱説明書の内容に従って実施をお願いします。
- ・使用した燃料に起因する機械の不具合が発生した際には、故障発生部品或使用燃料の回収をさせていただきます。

■ 注意点

- ・公道を走る自動車の燃料としての使用は禁止です。
(公道を走る車両 (ナンバープレート有) にGTL燃料を使用すると軽油引取税を支払っていない不正軽油とみなされます)
- ・給油する機械はGTL燃料専用車となります。(タンクなどに貯蔵する場合も同様です)
軽油からGTL燃料への入れ替え時、タンクに残留した軽油の確認が必要になることがある為、事前に所轄の都道府県税事務所へ相談をお願いします。
- ・GTL燃料への軽油引取税の課税に関する内容はGTL燃料販売元へお問い合わせをお願いします。
- ・今後、GTL燃料に関する各種法律や規格が追加変更になる場合には、「GTL燃料を日立建機製品にご使用いただける条件」が変わる可能性があります。
- ・その他不明な点につきましては最寄の営業所へお問い合わせください。

コマツの製品 (建設機械、フォークリフト) でGTL燃料をご使用する際の注意点について

平素より弊社製品をご愛顧いただき誠に感謝申し上げます。
GTL燃料をご使用の際は下記の点にご注意しお取り扱いください。

1. 【GTL燃料について】

GTLはGas To Liquidの略で天然ガスを原料に精製された液体燃料の総称で、硫黄分/芳香族分を殆ど含まない非毒性のパラフィン系液体燃料です。

2. 【GTL燃料をコマツの製品にご使用される場合の注意点】

- (1) 使用するGTL燃料はJIS K2204に適合するものをご使用ください。
- (2) ご使用できるコマツの製品については、品質保証対象とする「コマツエンジンとミニエンジン(マイニングエンジン除く)搭載機種」となります。
(油圧ショベル：PC58UU以下、ホイールローダー：WA50以下、ブルドーザー：D21以下等のヤンマーエンジン等搭載車両には使用できません)
(フォークリフト：FD35~250 (FD35A除く)、FH35~160には使用できません)
- (3) GTL燃料のご使用に際しては、輸入販売元事業者の「重要事項説明書」及び「GTL燃料の管理方法に関わるガイドライン」に必ず従うようお願い致します。
- (4) パラフィン系の燃料の特性として、軽油と比較して密度が低く燃料発熱量が低いため、燃料消費の増加、出力低下の可能性ががあります。

3. 【GTL燃料をご使用する場合の注意点】

- (1) 公道を走る車両 (大型特殊自動車の登録車および小型特殊自動車) へのご使用はできません。
(軽油引取税を支払っておりませんので、不正軽油とみなされます)
- (2) 使用する建設機械・フォークリフトはGTL専用となります。
GTL燃料と他の燃料を混和されてご使用されますと、少量であっても違法・脱法行為とみなされる場合がございます。ご不明な点がございましたら、お問い合わせいただけます輸入販売元事業者へご相談ください。

コマツの製品でのGTL燃料のご使用につきましては

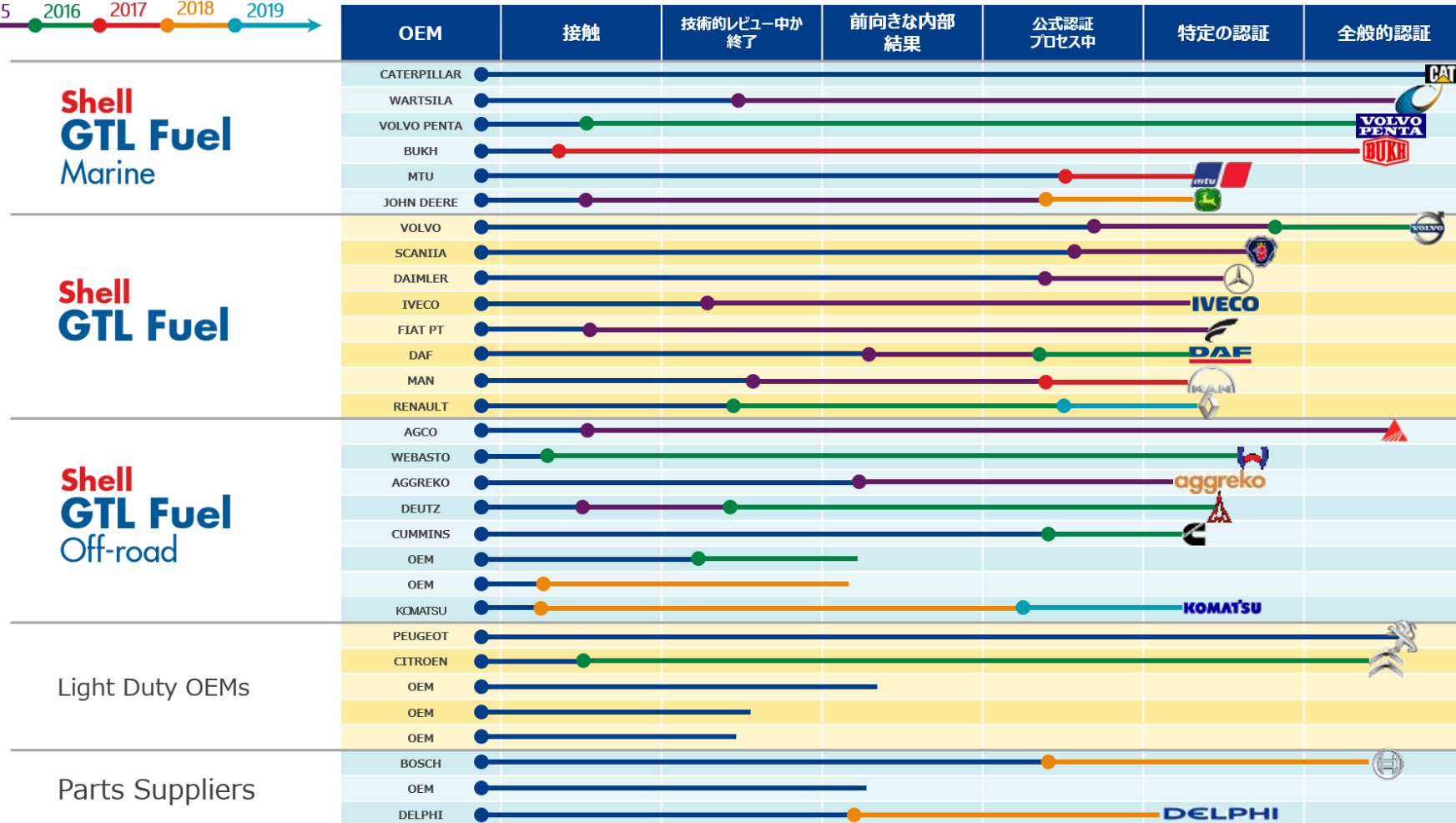
2. 【GTL燃料をコマツの製品にご使用される場合の注意点】をお守りいただくことで安心してコマツの製品をご使用いただけます。

今後とも末永くご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年3月吉日

2020年2月 日立建機株式会社

海外メーカー-GTL使用の保証状況

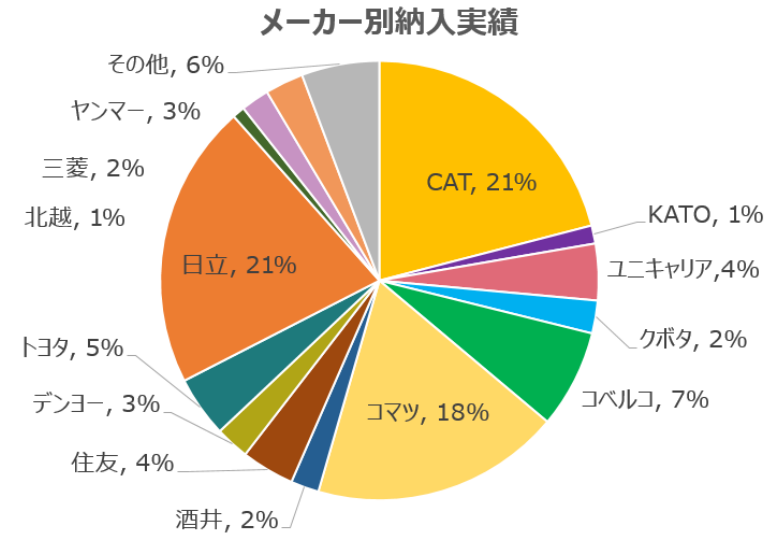
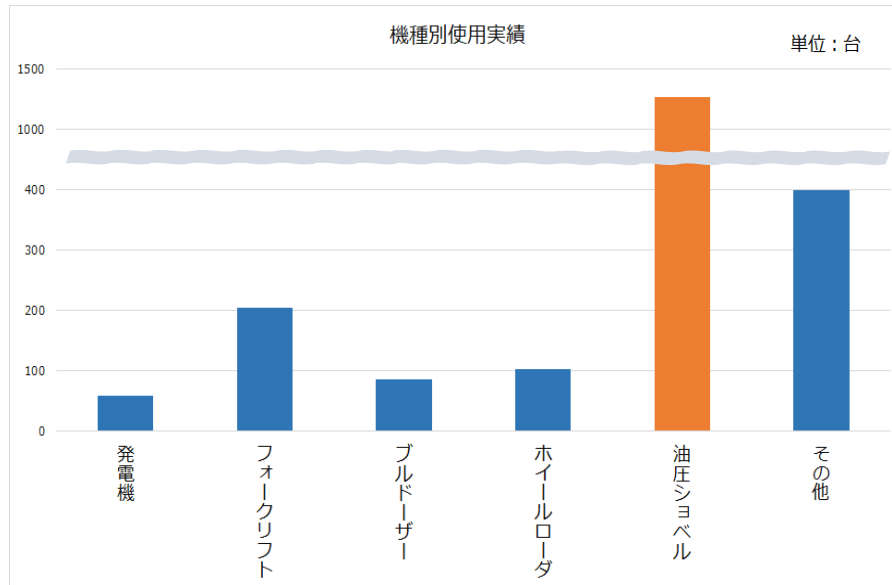


欧州に於ける利用例



欧州（殊にオランダ）に於いては、特定のShellガソリンスタンドにて、GTL燃料を購入することが可能です。

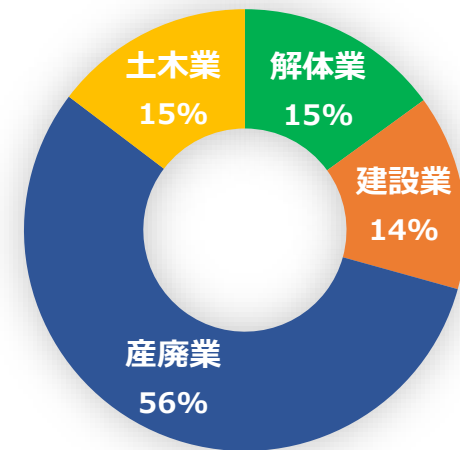
各種分類別に見る納入実績



主な納入先は産廃業、解体業・土木業・建設業。
油圧ショベル用途の占める割合が格段に多く、業種を問わず同様の実態が確認出来る。

各社導入の理由

- 多くの採用実績とメーカー保証がある安心感。
- 環境意識の高まり。
- GTL導入増に伴った、認知度の向上。



各種法令関連の取り扱い

【関連法令】	【GTLの区分】	【理由】
品確法	軽油	軽油強制規格とGTLスペック一致。
地方税法 軽油引取税	課税対象外	軽油引取税の軽油規格のうち比重がGTLスペックと一致しないため、灯油区分となり、オフロード用途の場合免税対象。
揮発油税法	灯油免税	軽油規格のうち比重が一致しないため、灯油区分となり免税対象。
消防法	危険物第四類 第三石油類	GTL引火点が70℃以上のため、第三石油類に分類。
オフロード法	オフロード法準拠燃料 軽油	軽油JIS規格とGTLスペック一致。
省エネ法 温対法	CO ₂ 排出原単位 2.36KG-CO ₂ /L	シェル計算資料を元に経産省より認可済み。

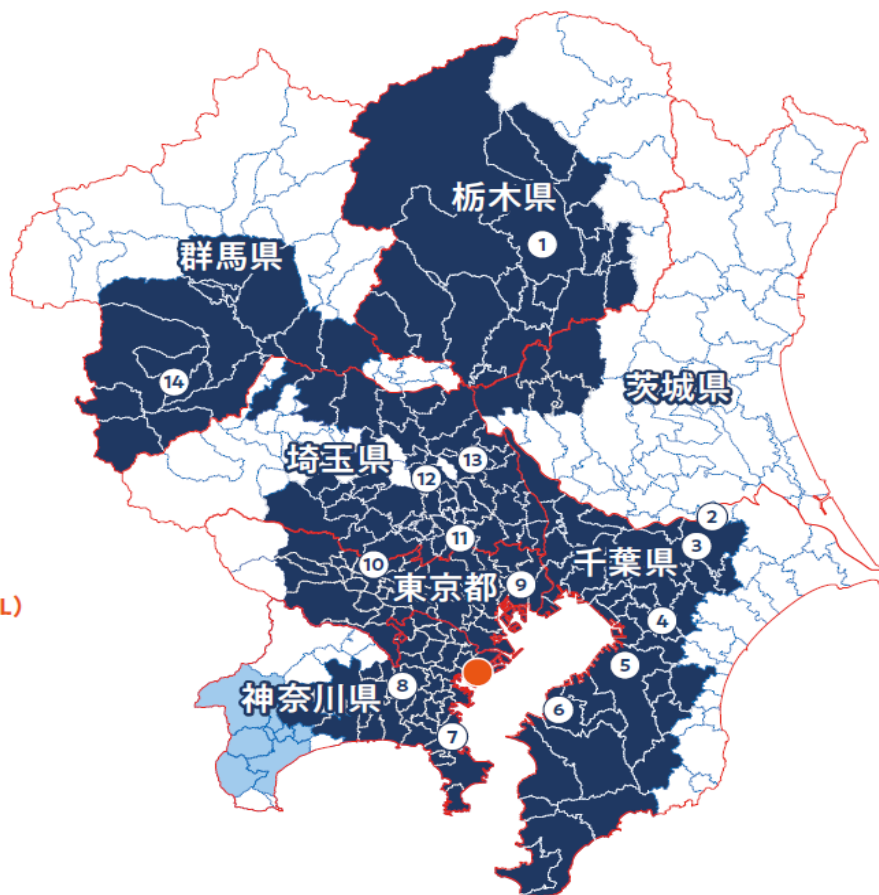
GTL燃料配送エリア

GTL燃料配送エリア

1. 関東エリアの拠点

配送協力会社：ヒラオカ石油、平野石油、共栄海運、
ヨコタ、三和エナジー

- ⑨ 立花基地 (50KL)
- ⑩ 武蔵村山基地 (200KL)
- ⑪ 戸田基地 (130KL)
- ⑫ 上尾基地 (20KL)
- ⑬ 白岡基地 (25KL)
- ⑭ 富岡基地 (30KL)
- 横浜1次基地 (5,000KL)



- ① 宇都宮基地 (20KL)
- ② 奈土基地 (16KL)
- ③ 成田基地 (28KL)
- ④ 千葉基地 (50KL)
- ⑤ 市原基地 (25KL)
- ⑥ 木更津基地 (50KL)
- ⑦ 福浦基地 (28KL)
- ⑧ 横浜基地 (25KL)

● : 輸入基地
 ■ は条件次第での配送対応判断

GTL燃料配送エリア

① 関東配送エリア一覧 (市町村単位)

関東エリア

東京都			神奈川県		千葉県		埼玉県			茨城県		群馬県		栃木県	
福生市	八王子市	板橋区	横浜市	横須賀市	長南町	我孫子市	北本市	松伏町	久喜市	古河市		群馬県		栃木県	
青梅市	日野市	港区	川崎市	平塚市	君津市	白井市	蓮田市	吉川市	白岡市	下妻市		高崎市		足利市	
日の出町	多摩市	品川区	大和市	三浦市	富津市	印西市	坂戸氏	三郷市	松戸町	八千代町		前橋市		佐野市	
あきるの市	稲城市	目黒区	綾瀬市	秦野市	鋸南町	成田市	幸手市	八潮市	蕨市	結城市		伊勢崎氏		板倉町	
国分寺市	町田市	大田区	座間市	厚木市	南房総市	印西市	鶴ヶ島市	草加市	朝霞市	筑西市		太田市		野木町	
国立市	江戸川区	世田谷区	海老名市		館山市	栄町	日高市	川口市	さいたま市			渋川市		小山市	
東大和市	葛飾区	杉並区	寒川町		鴨川市	千葉市	南埼玉郡	越谷市	川越市			吉岡市		岩舟町	
立川市	足立区	北区	茅ヶ崎市		大多喜町	芝山町	北葛飾郡	戸田市	ふじみ野市			榛東村		栃木市	
昭島市	荒川区	練馬区	藤沢市		袖ヶ浦市	富里市	入間郡	熊谷市	富士見市			安中市		下野市	
武蔵村山市	千代田区	西東京市	鎌倉市		茂原市	酒々井町	三芳町	行田市	志木市			富岡市		真岡市	
瑞穂町	中央区	武蔵野市	逗子市		市原市	佐倉市	鳩ヶ谷市	飯能市	朝霞市			下仁田町		上三川町	
羽村市	渋谷区	三鷹市	箱根町		長柄町	八千代市		加須市	新座市			南牧村		壬生町	
	墨田区	調布市	小田原市		四街道市	野田市		本庄市	戸田市			上野村		鹿沼市	
	江東区	狛江市	南足柄市		習志野市	流山市		東松山市	和光市			神流町		益子町	
	中野区	清瀬市	山北町		八街市	松戸市		春日部市	狭山市			藤岡市		市貝町	
	豊島区	東久留米市	松田町		木更津市	鎌ヶ谷市		羽生市	入間市			甘楽町		芳賀町	
	新宿区	小平市	大井町			市川市		鴻巣市	所沢市			玉村町		高根沢町	
	文京区	小金井市	中井町			浦安市		深谷市						宇都宮市	
	台東区	府中市	開成町			船橋市		上尾市						さくら市	
		東村山市				柏市		桶川市						矢板市	
														塩谷町	
														日光市	

は条件次第での配送対応判断

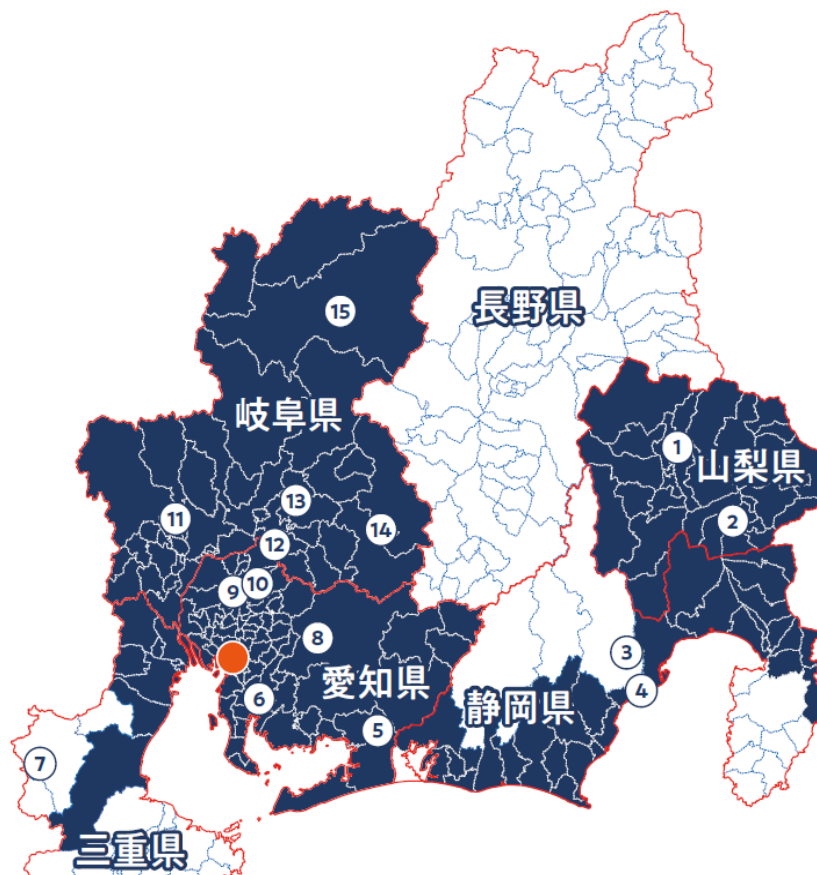
GTL燃料配送エリア

GTL燃料配送エリア

2.中部・東海エリアの拠点

配送協力会社：中川物産、スギセキ、
岩田商店、丸錦石油店等

- ⑨ 小牧基地 (20KL)
- ⑩ 春日井基地 (20KL)
- ⑪ 揖斐油槽所 (10KL)
- ⑫ 可児油槽所 (20KL)
- ⑬ 加茂郡油槽所 (20KL)
- ⑭ 恵那基地 (50KL)
- ⑮ 高山基地 (50KL)
- 名古屋輸入基地 (11,000KL)



- ① 甲府基地 (20KL)
- ② 河口湖基地 (20KL)
- ③ 松野基地 (30KL)
- ④ 大谷基地 (48KL)
- ⑤ 豊川基地 (195KL)
- ⑥ 高浜基地 (30KL)
- ⑦ 伊賀油槽所 (20KL)
- ⑧ 豊田油槽所 (20KL)

GTL燃料配送エリア

②中部・東海エリア配送エリア一覧 (市町村単位)

中部・東海エリア

愛知県	岐阜県	三重県	静岡県		山梨県
全域	全域	桑名市	静岡市駿河区	磐田市	全域
		いなべ市	静岡市清水区	掛川市	
		菰野町	浜松市中区	藤枝市	
		東員町	浜松市東区	御殿場市	
		木曾岬町	浜松市西区	袋井市	
		朝日町	浜松市南区	裾野市	
		川越町	浜松市北区	御前崎市	
		四日市市	沼津市	菊川市	
		鈴鹿市	熱海市	伊豆の国市	
		津市	三島市	牧之原市	
			富士宮市	田方郡函南町	
			伊東市	駿東郡清水町	
			島田市	駿東郡長泉町	
			富士市	駿東郡小山町	
			焼津市	榛原郡吉田町	

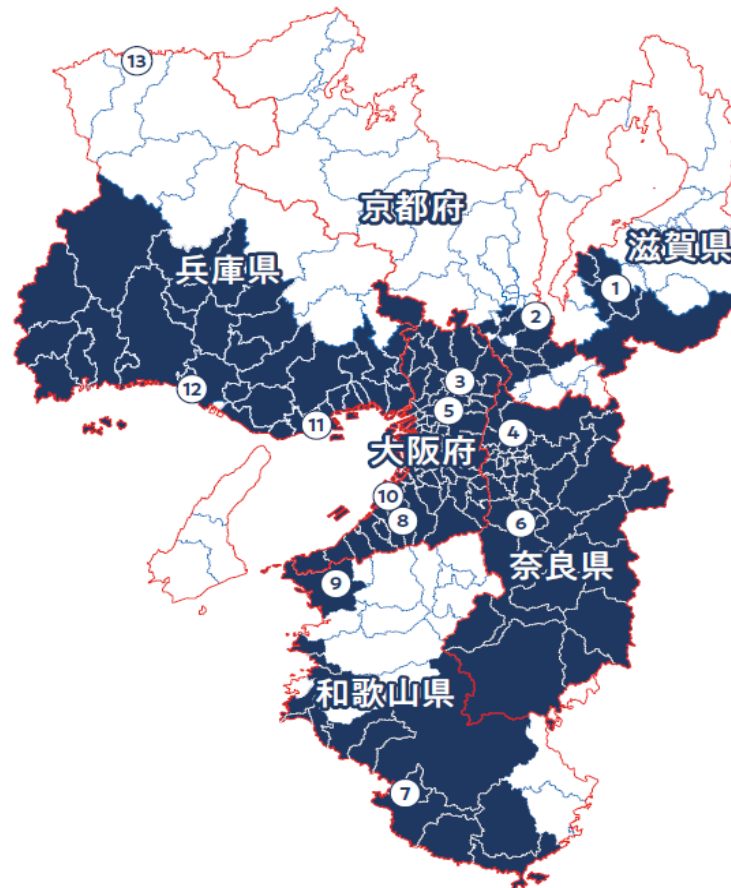
GTL燃料配送エリア

GTL燃料配送エリア

3. 関西エリアの拠点

配送協力会社：ヒラオカ石油、丸井商会、伊藤梅商店、ナカト産業

- ⑧ 真上基地 (50KL)
- ⑨ 和歌山基地 (20KL)
- ⑩ 岸和田基地 (400KL)
- ⑪ 長田基地 (200KL)
- ⑫ 高砂基地 (50KL)
- ⑬ 香住基地 (15KL)



- ① 石部基地 (50KL)
- ② 伏見基地 (50KL)
- ③ 摂津基地 (60KL)
- ④ 大和郡山基地 (30KL)
- ⑤ 守口基地 (48KL)
- ⑥ 吉野大淀基地 (50KL)
- ⑦ 朝来基地 (20KL)

GTL燃料配送エリア

③ 関西配送エリア一覧 (市町村単位)

関西エリア

大阪府	京都府	兵庫県		奈良県	滋賀県	和歌山県
全域	宇治市	加古川市	川西市	全域	湖南市	有田町
	京田辺市	高砂市	宝塚市		栗東市	湯浅町
	宇治田原町	小野市	伊丹市		野洲市	広川町
	井手町	加西市	尼崎市		甲賀市	日高町
	城陽町	福崎町	西宮市		守山市	美浜町
	八幡市	赤穂市	芦屋市			御坊市
	長岡京市	上郡町	神戸市			印南町
	伏見区	佐用町	三木市			みなべ町
	南区	市川町	稲美町			田辺市
		神河町	明石市			上富田町
		多可町	相生市			白浜町
		西脇氏	たつの市			すさみ町
		加東市	姫路市			串本町
		宍粟市	太子町			古座川町
						和歌山市

GTL燃料配送エリア

GTL燃料配送エリア

4. その他エリアの拠点

中四国エリア

(広島ケロシンサービス)



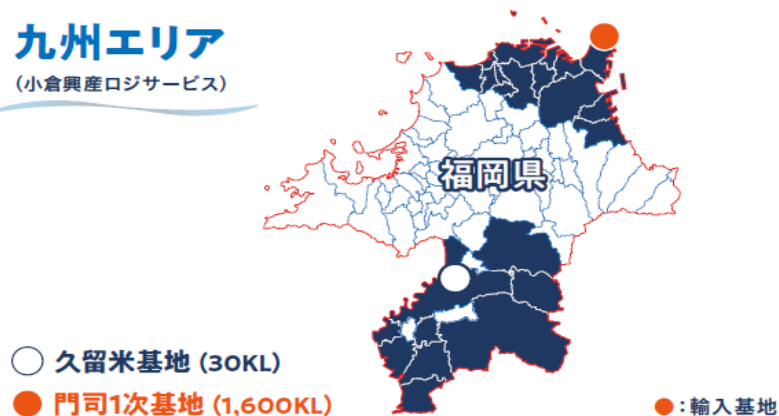
東北エリア

(佐藤燃料)



九州エリア

(小倉興産ロジサービス)



北陸エリア

(北信石油サービス)



GTL燃料配送エリア

④その他配送エリア一覧 (市町村単位)

中国エリア

広島県	山口県
広島市	岩国市
廿日市市	
大竹市	
東広島市	
呉市	
安芸太田町	
北広島市	
安芸高田市	
竹原市	
三原市	
久井町	
本郷町	
幸崎町	
世羅郡	
世羅町	
尾道市	
瀬戸田町	
因島町	
御調町	
福山市	
熊野町	
新涯町	
駅家町	
新市町	
神辺町	

九州エリア

福岡県
北九州市
行橋市
遠賀郡
中間市
久留米市
朝倉市
うきは市
小郡市
八女市
筑後市
大川市
柳川市
みやま市
大牟田市

東北エリア

福島県
郡山市
除湖南
本宮市
須賀川市
除長沼
三春町
田村市
二本松市

北陸エリア

富山県
小矢部市
氷見市
南砺市
砺波市
高岡市
射水市
富山市

は配送条件次第の配送対応判断

使用上の注意

⚠️ ① GTLと他の油種を混和しない

- 給油する機械はGTL専用となります（タンクなどに貯蔵する場合も同様です）
- 実際にGTLを使用する際は、機械のエンプティランプの点等を確認する必要があります

⚠️ ② GTL利用車輛の公道走行の禁止

- 公道を走る車輛（ナンバープレート有）にGTLを転用すると不正軽油とみなされます



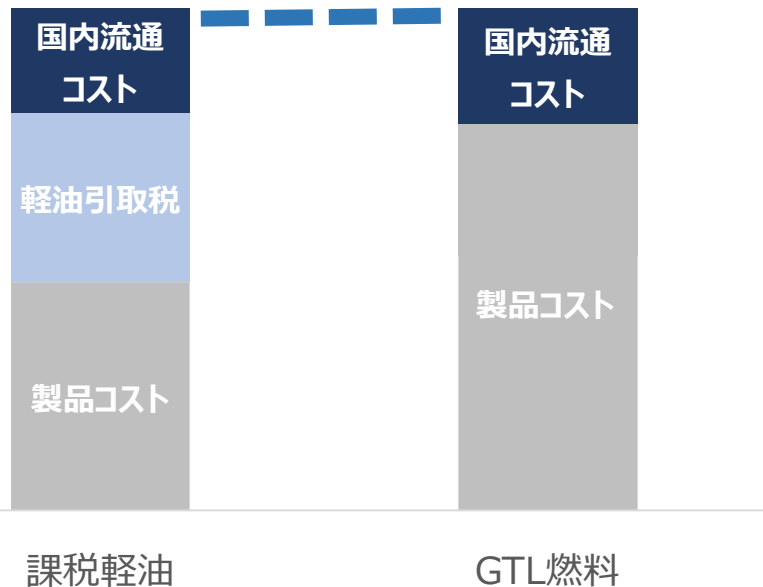
使用開始までの手順

- ① エンプティランプの点灯を確認
- ② 給油口付近にGTL専用ステッカーを貼付
- ③ GTL専用車両として使用可能

コストイメージ

◆価格構成内訳：小口配送 (パトロール給油想定)

価格は同等レベル



◆2021年度：価格比較イメージ

